

会 議 録

会 議 名	平成30年度第1回野田市水道事業運営審議会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	1 平成29年度野田市水道事業会計決算概要について（公開） 2 平成30年度野田市水道事業会計補正予算（第1号）案について（公開） 3 野田市水道事業長期計画の見直し及び経営戦略の策定について（公開） 4 平成30年度水道週間におけるイベントの実施結果報告について（公開） 5 平成30年度水道部出前教室の報告について（公開） 6 ホルムアルデヒド検出に係る損害賠償請求訴訟の和解について（公開）
日 時	平成30年8月10日（金） 午後1時30分から午後2時20分まで
場 所	野田市水道部2階大会議室
出席委員氏名	会 長 谷田貝多吉 副会長 永田和子 委 員 五百川和家恵、織原たか代、澤田美治、中村文江、 國嶋紀孝、根本嘉生、小川友子
欠席委員氏名	委 員 野口茂、横川しげ子、澤田好子、中村伸也、杉戸一寿
事 務 局	斉藤弘美 水道事業管理者 荘司晃章 次長（兼）工務課長 赤石俊介 業務課長 飯塚一雄 工務課主幹（兼）工務課長補佐（兼）浄水係長 葛西真理子 業務課長補佐（兼）財務係長 木塚幸雄 工務課長補佐（兼）工務係長 酒井礼将 業務課庶務係長 西澤 央 業務課業務係長 岡田一裕 工務課給水係長 千葉健一 工務課主査 青木宏茂 工務課主査 木村 淳 工務課主査 岡野正和 業務課主任主事 張替隆彰 業務課主任主事 高梨 慧 業務課主任主事 横島敬典 業務課主事
傍 聴 者	1名
議 事	平成30年度第1回野田市水道事業運営審議会の会議結果（概要）は次のとおりである。

<p>司会 岡野正和</p>	<p>定刻どおり、午後 1 時 3 0 分開会 会議の成立（委員 1 4 人中 9 人の出席）、傍聴者 1 名の申出があること及び会議録作成のため録音機を使用することを報告 会議の公開について説明 人事異動に伴い委員（関係行政機関選出）の交代があったことから、紹介 ・千葉県野田健康福祉センター長 杉戸一寿委員 ・関東地方整備局江戸川河川事務所長 中村伸也委員</p>
<p>会長 谷田貝多吉</p>	<p><挨拶></p>
<p>水道事業管理者 斉藤弘美</p>	<p><挨拶></p>
<p>会長 谷田貝多吉</p>	<p>本日の会議録の議事録署名人として、五百川委員、織原委員の 2 名を指名</p>
<p>議長 谷田貝多吉</p>	<p>議題 1 平成 2 9 年度野田市水道事業会計決算概要について</p>
<p>会長 谷田貝多吉</p>	<p>議題 1 平成 2 9 年度野田市水道事業会計決算概要について、説明を求める。</p>
<p>次長 荘司晃章</p>	<p><平成 2 9 年度野田市水道事業会計決算概要書に基づき説明> 水需要については、人口減少傾向が続く中であるが景気回復基調が追い風となり、工場及び事業・営業用等における水需要の増加や給水申込件数の落ち込みが少ないことで増加に転じている。 この状況が一過性である可能性も否定できない状況ではあるものの、使用水量・給水収益ともに対前年度比で若干の増</p>

となっている。

有収率については、徹底した水質維持管理策を継続的に実施していることから、前年度と同程度となっている。

拡張工事については、木野崎地先など給水要望者に対する配水管布設整備を12件、総延長1,109.71mを施工。

なお、概ね11月までに申込みを受け付けたものについては、翌年度中に工事を完了し供用開始ができるよう、待機期間の短縮を図る取組を推進している。

建設改良工事については、岩名一丁目の配水管布設替工事など21件、総延長5,968.63mを施工。

浄・配水施設の更新工事では、中野台取水場No.2取水ポンプ更新工事など15件の工事を施工。

次に、経理状況について、事業収入（税抜）は、合計32億6,367万8,436円、事業費用（税抜）は合計27億3,968万512円である。

事業収入合計から事業費用合計を差し引くと、当年度純利益は5億2,399万7,924円となる。

資本的収入（税抜）は合計1,281万円、資本的支出（税抜）は合計14億1,974万4,923円である。

資本的収入合計から資本的支出合計を差し引いた不足額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填している。

平成29年度末の企業債残高は、22億3,785万7,070円である。

なお、当年度純利益5億2,399万7,924円には、資本金に組み入れるべき減価償却見合い分の長期前受金戻入1億8,137万1,206円が含まれているので、当該戻入を除く純利益は3億4,262万6,718円となる。

この長期前受金戻入を除く純利益の3億4,262万6,718円のうち、平成31年度の企業債償還額である3億3,263万6,355円を減債積立金へ積立て、残りの999万363円は建設改良積立金へ積み立てる予定である。

業務量及び経理状況から判断すると、総合的に健全な運営

	<p>ができていものと考えている。</p>
会長 谷田貝多吉	<p>議題1 平成29年度野田市水道事業会計決算概要について、質問・意見等を伺う。</p>
会長 谷田貝多吉	<p>質問・意見等がないことから、議題1 平成29年度野田市水道事業会計決算概要について、原案のとおり了承することについて諮る。</p> <p>【異議無しのため、原案のとおり了承するものと決定】</p> <p>議題2 平成30年度野田市水道事業会計補正予算（第1号）案について</p>
会長 谷田貝多吉	<p>議題2 平成30年度野田市水道事業会計補正予算（第1号）案について説明を求める。</p>
業務課長 赤石俊介	<p><平成30年度野田市水道事業会計補正予算（第1号）案に基づき説明></p> <p>本補正予算（案）は、ホルムアルデヒド検出に係る損害賠償請求訴訟の和解が平成30年8月2日に成立したことに伴う損害賠償額及び訴訟費用等の補正である。</p> <p>内容については、既定予算第3条収益的収入の営業外収益に損害賠償額の2,133万6,000円を追加し、収益的収入総額を34億4,837万8,000円に、収益的支出の営業費用に弁護士委託料の217万1,000円を追加し、併せて営業外費用に消費税納付額を16万円減額し、収益的支出の総額を29億9,624万円にしようとするものである。</p> <p>その結果、収支差引は税込で4億5,213万8,000円となり、消費税及び資本金に組み入れるべき減価償却見合い分の長期前受金を除き、1億9,431万9,000円の純利益となり、当初予算より1,932万5,000円の増額となる見込みである。</p>

	<p>以上が平成30年度野田市水道事業会計補正予算（第1号）案である。</p>
会長 谷田貝多吉	<p>議題2 平成30年度野田市水道事業会計補正予算（第1号）案について、質問・意見等を伺う。</p>
会長 谷田貝多吉	<p>質問・意見等がないことから、議題2 平成30年度野田市水道事業会計補正予算（第1号）案について、原案のとおり了承することについて諮る。</p> <p>【異議無しのため、原案のとおり了承するものと決定】</p>
会長 谷田貝多吉	<p>報告事項について、事務局に説明を求める。</p>
次長 荘司晃章	<p>報告事項として、4点報告</p> <p>1点目 野田市水道事業長期計画の見直し及び経営戦略の策定について</p> <p>水道事業長期計画は、平成42年度を計画最終年とする計画としているが、人口減少や企業・家庭等における水需要の減少が進む一方、老朽化に伴う施設・管路等の更新需要の増大、水の安全と災害への対応など、水道を取り巻く環境はかつてない大きな課題に直面している。</p> <p>さらに、平成31年度には八ツ場ダムが完成することや、北千葉広域水道企業団における受水料金の見直しも含めた次期経営戦略の策定など、新たな課題への対応も必要となる。</p> <p>このような背景から、事業環境の変化と現状において市が抱える諸課題を踏まえ、人口減少社会や頻発する災害に対応できるよう、野田市水道事業長期計画の見直しを行う考えである。</p> <p>また、国の通知により、平成32年度までに策定すべきとされている経営戦略についても、長期計画に大きく関連することから、併せて策定する考えである。</p>

今後、水道事業運営審議会に諮問し、事業環境の変化と現状において市が抱える諸課題及び将来の野田市水道事業のあるべき姿等を議論いただき、その後パブリック・コメント手続きを経て、平成31年12月頃を目途に答申を頂きたいと考えている。

2点目 平成30年度水道週間におけるイベントの実施結果報告について

今年は昨年を引き続き、北千葉広域水道企業団との共催で、6月1日から6月7日の水道週間にイベントを6月3日（日曜日）にイオンタウン野田七光台店、6月6日（水曜日）に櫛のホールで実施した。

今回のイベントは、「安心・安全な水道水と災害への備え」をテーマに実施し、災害時における水道水の備蓄方法に関するパネル展示及びクイズや高度浄水処理過程の一つであるオゾン処理の実験など、楽しさも実感できる内容でPRに努めるとともに高度浄水処理水のきたちばウォーター（ペットボトル）の配布や水道に関するアンケート、小学生未満を対象にお菓子のつかみ取りなども行った。

さらに、新しい試みとして、より多くの集客を図るため、千葉県PRマスコットキャラクター「チーバくん」と野田夏まつり躍り七タイメージキャラクター「野田の『のんちゃん』」を動員し、予想を上回る成果を上げることができた。

続いて、アンケートの集計結果については、昨年比約30%増の599名の方から回収できた。

内容については、アンケート集計結果に基づいて説明。

3点目 平成30年度水道部出前教室の報告について

水道部では、本年度から教育学習の一環として水の大切さとともに水道の役割について理解を深めてもらうことを目的に、水道部職員が講師となり、希望する市内の小学校を訪問する出前教室を実施した。

<p>会長 谷田貝多吉</p> <p>会長 谷田貝多吉</p>	<p>5月から7月までで申込みは8校あり、小学4年生531人を対象に、江戸川の水をきれいにする体験型の実験や展示パネル、クイズ、パンフレットなどを通して、わかりやすいよう説明。</p> <p>結果、水の大切さを感じたという声や、水道水の仕組みが分かったという声とともに、一部の学校からは、児童の感想やお礼をまとめた寄せ書きを頂いたなどの成果を上げることができた。</p> <p>今後も引き続き、出前教室の充実を図りながらPR活動に努めていく。</p> <p>4点目 ホルムアルデヒド検出に係る損害賠償請求訴訟の和解について</p> <p>平成24年5月に利根川上流に流された化学物質による水質事故により市内全域断水となる甚大な被害が発生した。</p> <p>被害を被った北千葉広域水道企業団及び同企業団の構成団体である千葉県、野田市、柏市、流山市、我孫子市、八千代市で構成する原告団が代理人弁護士を立て、原因物質の排出事業者であるDOWAハイテック株式会社に対し、平成25年8月30日に損害賠償請求訴訟を千葉地方裁判所に提訴した。</p> <p>平成30年6月25日に裁判所から和解案が示され、原告団のすべての団体が裁判所からの和解勧告を受入可として一致したことから、平成30年8月2日に和解が成立し、本件訴訟は終結した。</p> <p>また、野田市の和解金額は、損害賠償請求額2,843万2,855円に対し2,133万6,661円となった。</p> <p>報告事項については、以上である。</p> <p>報告事項について、質問・意見等を伺う。</p> <p>その他、質問等がないことを確認し、午後2時20分、閉</p>
---------------------------------	--

